

冷蔵庫を使った花きの収穫を早める方法

デルフィニウムは暑さに弱く、高温期に種をまいても芽が出ません。しかし、種まき後に冷蔵庫へ入れて寒さに遭わせると芽が出やすくなります。この手法を使うと、これまでよりも早い時期から栽培を開始でき、収穫も早まりました。

研究成果の概要

1 背景・目的

本県が育成したデルフィニウムの品種は、右写真のように花色が鮮やかで草姿も大きいことから、高い市場評価を得ています。県内での一般的な栽培方法では、切り花の収穫は7月以降となるため、これを前進化する方法を開発しました。



デルフィニウム
(青森県花の共進会にて)

2 内容

- セルトレイ（苗づくり専用の容器）に土を詰め、ここに種をまいて水やりをしたら、冷蔵庫（切り花生産農家が切り花の一時保管用に保有しているもの）で2週間冷蔵します。冷蔵後は通常の栽培管理を行います。
- この冷蔵処理を行うことで芽が出やすくなり、健全な苗を作ることができます。
- 8月中旬～9月上旬に種をまき、苗を10月末までに植え付けると、翌春の5月に切り花を収穫できます。



冷蔵処理あり(生育良好)



冷蔵処理なし(生育不良)

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(慣行) 春植え夏収穫		種まき	← 苗づくり	定植	← 生育期間		← 収穫					
(新作型) 秋植え春収穫							← 収穫時期が前進	種まき	冷蔵	← 苗づくり	定植	← 生育期間(越冬)

慣行(上段)と新たな栽培方法(下段)の比較

3 活用等

- この研究成果は研修会や各種情報紙を通じて普及を図っています。

関連情報

- 本県で育成したデルフィニウム「スピーアシリーズ」は6品種あり、現在は「ブルースピアー」「スカイスピアー」「なつぞらスピーア」「ピンクスピーア」の4品種について種子の生産と供給を行っています。

